

秋晴れの天気恵まれた11月4日（木）に「豊橋文学めぐり～芭蕉と白雪の句碑めぐり～」を開催いたしました。

今回は、豊橋市と新城市に存在する松尾芭蕉の句碑と松尾芭蕉と交流のあった俳人：太田白雪ゆかりの地を巡りました。

講師は、三河芭蕉会の豊田俊充会長をお願いいたしました。句碑をみるポイントとして、「現地で現物を見ること」と「句碑の裏側を見ること」の2つを挙げられて、熱のこもった解説をしていただきました。



講師：豊田 俊充 氏



白魚句碑
白魚の 城下までや 波の瀬

まず、豊橋市の浜町神明社へ向かい、豊川河川沿いにある太田白雪の句碑：「白魚（しらうお）」を訪れました。河川沿いにある句碑ですが、その存在をご存知の方は多くはなく、驚かれたように句碑の解説に聞き入っていました。



冬住居句碑
京に飽て 此こからしや 冬住居

次に、新城の庚申寺で芭蕉の句碑：「冬住居（ふゆずまい）」と三猿の像と南無阿弥陀仏の碑も見学しました。また、特別に庚申堂にあげていただくことができ、特別な時間を過ごしました。



山雀句碑
山雀の 胡桃まはさん 雪の宿

さらに、永住寺へ行き、白雪の句碑：「山雀の（やまがらの）」と白雪の墓の見学をいたしました。



白雪の墓石

ここでは、特に句碑や墓石の裏側まで落ち着いてみることができました。

その後、新城小学校へ行き、運動場に建っている白雪の句碑：「稲蒨（もみまき）」を見学しました。また、新城小学校の先生方のご配慮により、新城の歴史に関する資料が保管されている貴重な旧校舎の見学をさせていただきました。



稲蒨句碑
稲蒨や かろくはふめと 足跡



夜着句碑
夜着ひとつ 新出して 旅寝かな

そして、最後に鳳来寺山へ行き、2つの芭蕉の句碑：「夜着（よぎ）」と「木枯（こからし）」を見学しました。



木枯句碑
こからしに 岩吹きとかる 杉間かな

今回めぐった句碑の中で、庚申寺・鳳来寺山道に建っている芭蕉の句碑は実際に芭蕉が新城で詠んだ句なので、当時の雰囲気を感じながら現物を見ることができ、参加者の方々はとても満足した表情でした。

参加者のアンケートより

- ・各資料の内容が充実していて講師の方の説明が良く、充実した日でした。会場などの講義では身につかないので、現地見学の良さがでていると思いました。
- ・初めての文学めぐり、目から鱗でした。地元の文学・歴史ももっともっと参加したいです。

来年度以降も良い企画にしていきたいと思っています。
また、多くの方のご参加をお待ちしています。